

合併建設計画①事業原案について

資料 7

施策	項目	提案市町村名	事業名	各市町村提案事業内容	検討結果	検討における考え方	
1 2 3 4 5 6 7	活力ある産業が展開するまち	交通体系	新潟市	新潟大外環状道路整備事業 (第6回任協後追加)	【事業目的・効果等】 これまで、豊栄新潟東港IC付近や大阿賀橋など約15kmが県によって整備済みまたは整備中であるが、残りの区間も県が実施した場合、現在の投資ベースを考慮すると暫定2車線整備としても完成までに30年近くかかるとされる。このことから早期に道路のかたちを形成するためには、市も事業に関与し重点的に取り組まなければならないと思われる。 【主な事業内容】 事業区間: 国道8号～国道116号 延長: 8.7km 幅員: 14m(暫定2車線)	○	市町村提案のコンセプトのとおり
			新潟市	蒲ヶ沢地区交通結節点 (新駅設置・パーク&ライド)調査事業	【事業目的・効果等】 通勤時間帯における新潟市内の交通渋滞の解消に向けて、自動車交通量の削減を図ることを目的とし、郊外においてパーク&ライドを実施する。また、隣接する丘陵地や各種施設(県立植物園、新潟市美術館、県立埋蔵文化財センター)への来訪者に対する交通手段として鉄道の利用も図る。 【主な事業内容】 新駅の建設を含めたパーク&ライド用の駐車場の建設を図る。 ・駅舎 ・駐車場	○	事業目的・効果等については提案どおりである。 事業手法については、駅舎の建設も含めて新市としてどのようなあり方が妥当なのか広域的観点での検討が必要である。 現在26市町村の圏域で行われている第3回パーソントリップ調査(H14～16)の結果や、交通専門部会の意見などを踏まえ、調査費で事業手法などを整理することとする。
			白根市	新たな交通システム調査事業	【事業目的・効果等】 白根市を含めた白根広域地域は、道路整備の遅れや、自動車交通量の増加により、朝夕の渋滞が日常化し、住民生活に大きな支障をきたしている。また、白根地域唯一の公共交通機関である路線バスも定時運行がままならず、定時性が損なわれている状況である。今後、新潟市と合併した場合、今以上に人々の往来が増えることが予想され、合併後速やかに一体感を醸成していくためには、白根市を中心とした白根広域地域と対新潟市中心部との交通について、抜本的な対策を講ずる必要がある。特に、白根地域の場合、軌道系交通機関の空白地域となっており、定時性の確保と大量輸送が可能な新交通システムやLRT等を整備することにより、これらの問題の解決を図る。 【主な事業内容】 新潟市中心部と白根広域地域を結ぶ軌道系交通機関(新交通システム)の整備を検討する。 ・建設構想の検討 導入手段の検討(新交通、LRT、ガイドウェイバス etc.) 事業主体の検討 運行ルートの検討	○	本事業は、既存公共交通のあり方や新たな交通の必要性等の総合的な交通体系の中に位置づけられるものであり、その実施に向けては、現在26市町村の圏域で行われている第3回パーソントリップ調査(H14～16)の結果等を勘案し、また社会的要望も踏まえながら、総合的な調査検討を行う。 なお、事業については、豊栄市提案事業「新交通システム導入事業」と一本化した。
			白根市	一般県道黒崎新飯田線新飯田橋整備事業	【事業目的・効果等】 本事業が完成することにより、国道8号を基幹道路とし三条市・白根市並びに西蒲原地域や燕市への交通が円滑となり、近隣市町村との産業・経済・文化の交流や地域連携が促進され、更なる地域振興の充実が図られる。 【主な事業内容】 白根市と中之口村にかかる新飯田橋の架け換え整備を行う。	協議中	
			白根市	塩俵橋及び中塩俵国道線整備事業	【事業目的・効果等】 現在白根市と新潟市を結ぶ塩俵橋は老朽化が進んでいると共に、白根市から現橋を通って新潟市方面に通勤・通学する市民が多く車両の交通量が増大しており、早急に架換を実施する必要がある。また、現橋架け換え工事と同時に塩俵橋から国道8号までの道路工事も合わせて実施して、広域的な道路整備を図る。 【主な事業内容】 塩俵橋の架け替え整備、塩俵橋～国道8号線間の道路整備 全体延長 L=1675m 橋梁延長 L=92m	○	市町村提案のコンセプトのとおり
			白根市	主要地方道新潟大外環状線大郷橋整備事業	【事業目的・効果等】 本事業完成に伴い、国道8号から新潟市・新潟市への交通がスムーズとなり、渋滞解消が図られる。加えて、洪水時での交通止めも解消され、磐越道並びに既存道路への通行もスムーズとなる。 【主な事業内容】 主要地方道新潟大外環状線の信濃川にかかる大郷橋の架け換え整備を行う。	協議中	
			白根市	白根地域総合交通ターミナル調査事業	【事業目的・効果等】 現在、白根地域にとっては、路線バスが唯一の公共交通機関となっている。しかし、鉄道駅のようなランドマーク的な施設がないため、市外から白根地域を訪問する場合、非常に不便である。また、当地域を運行するバス路線相互の連携が取れていないため、利用者にとっても非常に使いにくい交通機関となっている。このため、白根地域の玄関として、バス路線の結節性や乗換えの利便性の向上を図るため、バスターミナルを整備する。 【主な事業内容】 ・バスターミナル(待合所、インフォメーションコーナー、イベントスペース、会議室、店舗) ・その他 バスロータリー、駐車場、タクシー乗り場、駐輪場、ポケットパーク)	○	合併後の新市の公共交通の役割分担をどう位置づけるか、広域的、総合的な観点から検討を行う必要があるため、交通専門部会の意見を踏まえ調査検討するものとする。

施策	項目	提案市町村名	事業名	各市町村提案事業内容	検討結果	検討における考え方
8	交通体系	白根市	高井橋整備事業	【事業目的・効果等】 現在、白根市と味方村を結ぶ高井橋は、利用者が多くにもかかわらず、現況車道幅員が3.5mと狭く、車両のすれ違いができない状況である。 高井橋架け換え工事により2車線の車道と歩道を設置し、車両通行の円滑化と歩行者の安全確保を図る。 【主な事業内容】 白根市と味方村にかかる高井橋の架け替え整備を行う。 橋長 L=92.85m 道路部 L=240m	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		白根市	バス運行円滑化事業	【事業目的・効果等】 現在、新潟市中心部と白根地域の公共交通はバスのみとなっているが、特に新潟～白根間の路線(新潟線)については、自動車交通量の増大により、渋滞が激しく、定時運行ができない状態になっている。 新潟～白根間の道路上にバス専用レーンや公共車両優先システム(PTPS)を整備し、さらにバスロケーションシステムを導入することにより、バス運行の円滑化を図る。また、パークアンドバスライドを実施することで、政策的に車利用からバス利用へ転換させる。このことにより、白根地域全体の交通利便性が向上するとともに、渋滞を解消や、排気ガス等による環境への負荷の軽減を図ることが可能となる。 【主な事業内容】 新潟～白根間にバス専用レーンや公共車両優先システム(PTPS)を導入する。また併せてバスロケーションシステムを導入する。またバス走行環境の改善と同時に、パークアンドライド施策を実施する。将来的にはオムニバスタウンの指定を受け、バスを活用したまちづくりを行う。	○	南東部方面(特に白根市)方面については、軌道系や高速道路がなく、国道8号線が重要なアクセスルートになっている。このことから、バスの定時制を確保し、自動車利用から公共交通利用への転換を図る当施策は重要である。 現在「新潟都市圏TDM施策推進委員会」において、各方面のTDM施策を検討しており、この中で社会実験等を実施し、市民への十分なPRを行いながら、徐々に導入していくことが望ましいと思われる。
		豊栄市	競馬場島見町線整備事業	【事業目的・効果等】 競馬場開催時の渋滞を緩和し、沿線住民の車両通行の安全確保ができ、交流が促進される。 【主な事業内容】 (仮称)競馬場・島見町線道路改良工事 延長L=100m、幅員W=16m	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		豊栄市	競馬場濁川線整備事業	【事業目的・効果等】 競馬開催時に競馬場インターへの交通が集中し、交通混雑及び渋滞がひどく濁川インターと競馬場を結ぶことにより車両の分散を図る。 【主な事業内容】 競馬場・濁川線道路改良工事 延長L=1,400m、幅員W=16m	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		豊栄市	新たな交通システム調査事業	【事業目的・効果等】 昭和63年パーソントリップ調査より、豊栄市からのマイカーによる新潟市中心部への主な勤務先は、古町や県庁・駅周辺などが多いことがわかっており、このことから、新世代交通システム(仮称)日本海ラインを検討・構築することで、マイカー利用者から公共交通機関利用者への転換を見込むことが可能となり、自動車交通量の削減、抑制による交通渋滞の緩和や公共交通機関利用の促進を図ることができる。また空港や競馬場へのアクセス機能が向上し、さらに競馬場周辺の交通渋滞に対しても、有効な対応策となることが想定される。併せて、新潟市中・北地区、豊栄市北部地域など路線バス以外の公共交通機関がない地域住民の利便性を増加させる。 【主な事業内容】 新世代交通システム(仮称:日本海ライン)の導入について検討し、新しい公共交通システムを整備する。	○	本事業は、既存公共交通のあり方や新たな交通の必要性等の総合的な交通体系の中に位置づけられるものであり、その実施に向けては、現在26市町村の圏域で行われている第3回パーソントリップ調査(H14～16)の結果等を勘案し、また社会的要望も踏まえながら、導入に向けた調査検討を行う。 なお、事業については、白根市提案事業「新交通システム」と一本化した。
		豊栄市	豊栄駅駐輪場整備事業	【事業目的・効果等】 豊栄駅周辺整備事業に伴い、廃止される駐輪場の代替施設として駅利用者の利便を図る。 【主な事業内容】 豊栄駅周辺整備事業に伴い2階建駐輪場の整備を行う。	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		豊栄市	豊栄駅周辺整備事業	【事業目的・効果等】 広域的な交通体系と市内交通体系の調整を図り、総合交通体系を確立する。 豊栄駅南北地区の均衡ある発展を図る。 【主な事業内容】 豊栄駅の南北を結ぶ自由通路の整備、駅舎の橋上化、南北広場等の整備を行う。	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		小須戸町	都市計画道路矢代田停車場線整備事業	【事業目的・効果等】 JR矢代田駅への交通結節点の改良 都市計画道路矢代田停車場線を拡幅改良することにより、バスの乗り入れが可能となり周辺道路の交通渋滞の緩和と、電車利用者の利便性の向上が図られる。 【主な事業内容】 道路改良 L=40m W=22m	協議中	
		小須戸町	サイクリングロード整備事業(矢代田駅周辺整備関連)	【事業目的・効果等】 現在、新津市内のサイクリングロードが完成しており、小須戸町地内のパイプかんがい化により、不要となった幹線用水路跡地を利用し一体的に整備をすることにより、広域的な地域間交流と健康増進を図ることができる。 【主な事業内容】 サイクリングロードの整備 L=3,650m W=4.0m JR信越線沿いの新津市境から小須戸町地内(田上町境)までサイクリングロードを整備する。	○	市町村提案のコンセプトのとおり

施策	項目	提案市町村名	事業名	各市町村提案事業内容	検討結果	検討における考え方
17	交通体系	小須戸町	主要地方道白根安田線整備事業	【事業目的・効果等】 市街地の交通渋滞、騒音、振動の解消のために、市街地を迂回するバイパスを整備、信濃川の計画高水位を満足せず、また、老朽化が著しく、幅員狭小、25t対応不可のため小須戸橋の架替をする。 【主な事業内容】 小須戸バイパスの建設に伴う町負担金 L=3.1km W=11.5m	協議中	
		小須戸町	矢代田駅周辺整備事業	【事業目的・効果等】 JR矢代田駅交通結節点改良 JR矢代田駅の東西を結ぶ自由通路の整備、駅舎の橋上化、東西広場の整備とそれに接続する都市計画道路3路線を整備し、矢代田駅東西地区の均衡ある発展を図る。 【主な事業内容】 都市計画公園、駅橋上化、駅西口広場整備、矢代田駅前整備 街路整備 舟戸兎谷沖線 L=700m W=16m、新保矢代田2号線 L=690m W=18.0m、矢代田駅自由通路 W=4m L=56m	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		横越町	横越630号線整備事業	【事業目的・効果等】 県道沢海酒屋線と国道49号を結ぶ現況車道幅員 5mの直線道路で、横越町、亀田町、新津市、新潟市などをつなぐ広域的道路として重要性を果たす。 【主な事業内容】 横越町木津・二本木地区と亀田町曙町及び国道49号を最短距離で結ぶ町道630号線と亀田町町道222号線と一体的整備を進める。 延長(横越分) 1,150m 幅員12m	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		横越町	都市計画道路横越新潟線整備事業	【事業目的・効果等】 国道49号横雲バイパスが平成16年度に亀田バイパスまで開通予定であり、開通後の国道49号と東新潟を結ぶ一大幹線道路として、物流・地域間交流の迅速化を図れる。 【主な事業内容】 国道49号と東新潟地区を結ぶ幹線道路である主要地方道新潟港横越線(都市計画道路 横越新潟線)は、計画どおり4車線で供用を開始しているが国道49号横雲バイパスまで整備することにより、全線4車線化が完了する。 延長 730m 幅員 25m 4車線	協議中	
		横越町	二本木地区開発事業(新駅設置・パーク&ライド)	【事業目的・効果等】 JR新駅とその周辺部を土地区画整理事業等により整備し、新しいまちづくりを進める。新潟大外環状線とリンクしたパークアンドライド施設の整備による中心市街地の車の負荷解消や駅を利用した業務用地・住宅用地等を整備する。 【主な事業内容】 JR信越本線の亀田駅萩川駅間に新駅を設置し、駅周辺の整備を図り、新しいまちづくりを進める。特に新潟大外環状線等とリンクしたパークアンドライド施設の整備を進め、新潟市内の車両の負荷軽減に努める。	○	市町村提案のコンセプトのとおり 新潟大外環状線整備計画との整合性を図るとともに、新駅設置については組合施行の土地区画整理事業において実施することが妥当である。
		亀田町	亀田駅周辺地区整備事業	【事業目的・効果等】 亀田駅周辺地区の施設整備や面整備等を総合的に実施し地域主導の個性豊かなまちづくりを推進する。 【主な事業内容】 駅周辺道路・駐車場整備、区画整理事業、亀田駅東西駅前広場及び東西自由通路整備、亀田駅橋上化、駐輪場整備、土地区画整理組合への助成金交付	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		亀田町	外郭環状道路整備事業	【事業目的・効果等】 (1)都市と郊外拠点を連絡し、郊外拠点を育成しつつ、多核的な都市構造に誘導する。 (2)通過交通を排除し、都市の出入り交通を導分散する。 (3)交通軸を形成し、市街地の拡大を誘導する。ボトルネックを解消し、交通の円滑化を図る。 【主な事業内容】 L=4,210m W=25m	—	構想レベルのため事業期間を見直し建設計画対象事業としない。 計画ルート、断面構成、事業主体など未定である。今後、事業化の時期についても、周辺幹線道路の整備状況や土地利用の動向などを総合的に勘案しながら、事業主体や事業区間などを検討する必要がある。現在の(主)新潟亀田内野線で当面は代替できると考えられる。
		亀田町	主要地方道新潟亀田内野線整備事業	【事業目的・効果等】 新潟亀田内野線の早期事業化を推進し、新潟都市圏の課題となっている、東西交通軸の強化を図るとともに、南北交通軸の機能向上を図り、放射環状型の幹線道路網を構築するものである。 【主な事業内容】 L=1,450m W=25m	協議中	
		亀田町	一般県道白根亀田線整備事業	【事業目的・効果等】 日本海東北自動車道新潟亀田インターチェンジからの自動車交通を円滑に処理するため町道480号線及び県道白根亀田線等の南北交通軸の機能向上をはかり、東西交通軸と併せて環状型の幹線道路網を構築するものである。 【主な事業内容】 L=1,370m W=20m	協議中	
26	亀田町	亀田222号線整備事業	【事業目的・効果等】 本路線は、亀田町から横越町木津工業団地や北方文化博物館へ横越町からは、亀田製菓や商業施設への利用がなされ農村文化の交流ふれあいや、通勤、買物道路として大変重要な路線である。又、亀田バイパス、横雲バイパスを経由し、新潟市を始め周辺市町へ連携する広域的な幹線道路として位置付けている。 【主な事業内容】 L=1,000m W=12m	○	市町村提案のコンセプトのとおり	

施策	項目	提案市町村名	事業名	各市町村提案事業内容	検討結果	検討における考え方
27	交通体系	岩室村	主要地方道新潟寺泊線(仮称)岩室バイパス整備事業	【事業目的・効果等】 温泉街の歩行者優先のコミュニティ道路化や石瀬地区の渋滞解消と北国街道(北陸街道)の整備を行うために温泉街を迂回する道路を確保して、通過交通を排除するとともに、立ち寄り客を歓迎するような交通の仕組みと歩行者等の安全が図られる。 【主な事業内容】 主要地方道新潟寺泊線は岩室温泉街から石瀬集落を抜けるまでの区間の大部分の道路幅員が狭く、その上温泉街や石瀬集落内は両側に人家が連担しているにもかかわらず歩道はなく、また、歩道を設置するにも困難な状況である。このため特に観光シーズンには渋滞により、自動車と自転車・歩行者が混在し交通安全上大きな問題となっており、地域住民の生活にも支障をきたしている。この交通渋滞の解消及び歩行者等の安全を確保するために、バイパスを新設して整備を図る。	協議中	
		西川町	一般県道五千石巻新潟線整備事業(西川コミュニティロード整備)	【事業目的・効果等】 一般車両の出入りを規制し、歩行者尊重道路とすることにより、安心して、子どもから高齢者まで通行することができ、個性豊かな商店街の形成をし、賑わいの空間作りが図られる。 【主な事業内容】 既存商店街を通過する区間について、一般車両の通過を規制して、歩行者や自転車、車椅子など、子どもから高齢者、障害者まで安全で安心して通行できる歩行者尊重道路としての整備促進を推進する。	協議中	
		西川町	一般県道五千石巻新潟線整備事業(天竺堂地内)	【事業目的・効果等】 歩行者等の安全性が格段に高くなる。 【主な事業内容】 真田集落からJR越後線矢島踏切までの間の歩行者の安全を確保するために歩道整備を含めた道路改良工事及び踏切拡幅改良工事を実施したい。 L=870m W=12.2m	協議中	
		西川町	一般県道五千石巻新潟線整備事業(矢島踏切)	【事業目的・効果等】 歩行者等の安全性が格段に高くなるとともに、特に小中学校児童生徒の通学路になっていることから、早急な工事の要望が地域住民からも出ている。 【主な事業内容】 真田集落からJR越後線矢島踏切までの間の歩行者の安全を確保するために歩道整備を含めた道路改良工事及び踏切拡幅改良工事を実施したい。 L=350m W=12.2m	協議中	
		西川町	越後曾根駅地下歩道整備事業	【事業目的・効果等】 越後曾根駅裏のJRを使つての通勤・通学者の利便性の向上を図る。 【主な事業内容】 地元住民の要望及び今後の駅裏の住宅開発を考慮し、自転車歩行者専用のJR横断地下歩道を設置したい。 整備延長 約66.2m	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		西川町	高山インター南線整備事業	【事業目的・効果等】 地域住民の交通の利便性が図られる。 【主な事業内容】 升岡工業団地の利便性の向上による一層の発展を目指し、新潟西バイパス高山インターチェンジへのアクセス道路を、広域農道田潟交差点から新設整備したい。 整備延長 1,340m	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		西川町	六分横戸線整備事業	【事業目的・効果等】 地域間交流の発展及び交通安全が図られる。 【主な事業内容】 地域間交流の一層の発展のため湯東村の広域農道3号線まで、現道の一部を利用して、幅員3.0m歩道整備を行いたい。 整備延長 約2,660m	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		西川町	主要地方道白根西川巻線鑑湖橋整備事業	【事業目的・効果等】 大雨のたびに通行止め規制をかけていることから、橋梁を架け替え交通の確保を図る。 【主な事業内容】 橋梁架け替え	協議中	
		西川町	主要地方道白根西川巻線(仮称)六分バイパス整備事業	【事業目的・効果等】 歩道が無い歩行者等が危険な状態で道路を利用していることから、バイパスを新設して整備を図ることにより、歩行者等の安全が図られる。 【主な事業内容】 曾根地区は、商店街を中心とした市街地であり、車両等の交通量が多いわりに道路が狭隘で鋭角に屈曲していることから、交通渋滞をおこしていることをはじめ、歩道が無い歩行者等が危険な状態で道路を利用しています。この交通渋滞の解消及び歩行者等の安全を確保するために、バイパスを新設して整備を図る。 L=210m W=14.5m	協議中	
36	味方村	主要地方道白根西川巻線歩道整備事業	【事業目的・効果等】 歩道要望している箇所については、バス路線を利用した通学路であり、児童生徒及び交通弱者の安全を図る。また、役場との連絡歩道ともなる。 【主な事業内容】 県道白根西川巻線の味方橋西手から役場までの区間に歩道を設置する。 延長680m、幅員10.5m(現況7m)	協議中		

活力ある産業が展開するまち

施策	項目	提案市町村名	事業名	各市町村提案事業内容	検討結果	検討における考え方	
37	活力ある産業が展開するまち	交通体系	味方村	味方・月潟・中之口広域5号線整備事業	【事業目的・効果等】 道路改良を実施することにより、道路及び交通の安全確保を図るとともに、広域的な道路整備が図られる。 【主な事業内容】 味方村・月潟村・中之口村をとり、新潟市に通じる重要な路線広域5号線は、近年の交通量の増加と経年による道路の摩耗が激しく、交通の安全を確保するため道路の改良を図る。(県道昇格を要望する) ○延長 11,680m 味方村 L=7,337m 月潟村 L=2,748m 中之口村 L= 1,595m ○幅員 全幅9.0m	○	市町村提案のコンセプトのとおり
			潟東村	県道新潟燕線五之上地内バイパス整備事業	【事業目的・効果等】 県道新潟燕線は新潟市・西川町・潟東村・中之口村を結び燕市に至る路線で西蒲原の穀倉地帯を通過する幹線県道となっています。しかしながら、潟東村五之上地内においては集落内の旧道をそのまま県道として利用しているため幅員も4m前後と狭く交通車両はもとより地元住民の歩行者が危険を感じている状況です。村では地域住民の交通安全と道路通行車両の円滑な交通を確保するため昭和59年度より新潟県にバイパス工事を要望して参りましたが未だ工事に至っておりません。 【主な事業内容】 増加する交通量に対応した道路整備を行う。 施工延長 L=1, 600m 用地幅 B=15. 0m	協議中	
			潟東村	国道460号拡幅及び歩道設置事業	【事業目的・効果等】 新発田市～新津市～白根市～潟東村(巻潟東インター)を結ぶ路線であり新潟市の外環状線となる国道で、広域的な役割を担っている。しかしながらインター手前潟東村大字今井地内の整備が遅れており早急に整備したい。 【主な事業内容】 施工延長=400. 0m 幅員=10. 5m(現況7～8. 5m)	協議中	
			潟東村	新幹線側道整備事業	【事業目的・効果等】 上越新幹線側道は燕市から中之口村、月潟村、潟東村、味方村を通過し新潟市に結ばれる広域的な路線である。その為、通勤、通学や物流自動車の利用に多く利用され交通量も多い。しかしながら整備時は農道整備事業で対応した構造、幅員であり、現在および今後の交通量に対応出来ない状況にあり構造及び幅員の改良を行いたい。 【主な事業内容】 増加する交通量に対応し歩道も備えた道路整備を行いたい。 施工延長 L=14, 000m 用地幅 B=6. 0m (拡幅幅) 歩道幅員 3. 0m	○	沿道は、主に農地であり歩行者の利用が少ないことや、歩道拡幅線上に新幹線の除雪施設があり移転は困難であると思われることから、歩道は全線整備ではなく利用状況を見極めながら必要な箇所に整備していくのが現実的であると思われる。
			月潟村	一般県道黒崎新飯田線整備事業	【事業目的・効果等】 一般県道黒崎新飯田線と国道460号との交差点に、路線バスのバス停があり、歩行者・自転車乗り等が多く通行するため、歩道を建設することにより、いわゆる交通弱者の交通の安全が図られる。 【主な事業内容】 一般県道黒崎・新飯田線の月潟村大字西萱場内、月潟村野球場下手から味方村大字白根、国道460号との交差点までの区間は、歩道が設置されていないため大変危険である。このため、歩道を建設して交通の安全を図る。 施行延長2, 400m 計画幅員11m(現況7.5m)	協議中	
			月潟村	月潟大別当線整備事業	【事業目的・効果等】 現在、この県道の交通量が少ない反面、周辺の月潟村、中之口村の村道の交通量が非常に多くなっている。また、平成5年の新潟交通電鉄燕・月潟間の廃止に伴う代替バスは、この県道の幅員が狭いため代替バスとしての機能を十分に果たしていない。 【主な事業内容】 中ノ口川の堤防上を通るといふ人家密集地から外れた路線であることと、幅員が狭く、曲がりくねった道路であるため、現在はこの県道の通行量は非常に少ない。このため、一般県道新津茨曾根燕線の路線の付け替え工事を行うことにより、県道として広域的な交通体系の確立に寄与できる。 施行延長 1,350m 計画幅員 11m(歩道含む。)	○	現在の一般県道新津茨曾根燕線は、中之口川の堤防上を通るといふ人家密集地から外れた路線であることと、幅員が狭く曲がりくねった道路であるため、現在はこの県道の通行量は非常に少ない。現在、この県道の交通量が少ない反面、周辺の月潟村、中之口村の村道の交通量が非常に多くなっている。県道の付け替えとして県が事業主体となることは難しいと思われるため、新市が事業主体として事業を実施する。現在の道路状況や代替バスの運行路線を考慮すると整備の必要性・緊急性は認められる。
			月潟村	一般県道新津茨曾根燕線月潟橋整備事業	【事業目的・効果等】 歩道を整備することにより、歩行者・自転車乗り等、いわゆる交通弱者の交通安全を図ると共に、朝・晩のラッシュ時における渋滞の緩和に寄与する。 【主な事業内容】 一般県道新津茨曾根燕線の中ノ口川に架かる月潟橋は、橋梁の両側に歩道が設置してあるが、それぞれ幅70cm位と歩行者がやっと通れる幅員であり、自転車等は車道を通るしかなく、大変危険な状況である。このため、月潟橋に歩道橋を併設して交通の安全を図る。 施行延長250m 計画幅員11. 5m(現況8m)	協議中	
			中之口村	主要地方道長岡栃尾巻線整備事業	【事業目的・効果等】 潟東村の一部、中之口村から巻町の高校や高速バス利用による通学者の多くは、長岡栃尾巻線を利用している。近年、自動車交通量増加に伴い、自歩道設置により歩行者や自転車利用者の安全を確保する。 【主な事業内容】 歩行者、自転車利用者の安全を確保する。 ・延長 L=1,300m 、幅員 W=3.5m	協議中	

施策	項目	提案市町村名	事業名	各市町村提案事業内容	検討結果	検討における考え方
活力ある産業が展開するまち	交通体系	中之口村	巻潟東インター駐車場整備事業	【事業目的・効果等】 駐車場拡張により、約乗用車100台分のスペースを確保し、高速バスを利用する通勤・通学者の利便性を図る。 【主な事業内容】 現在無料、有料併せて206台駐車できるが、駐車スペースが足りないため路上に駐車している車両があり、地域住民から苦情が出ている。駐車スペース確保ため拡張が必要となった。 ・土地取得 3,000㎡ ・駐車場 自動車用 100台	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		港湾・空港	豊栄市	新潟FAZ計画事業(出資金)	【事業目的・効果等】 輸入貨物の検品、仕分、加工、保管等ができる新潟国際物流センター(仮称)の整備建設することにより、国際物流拠点として貿易関係企業の集積を促進することができ、貿易が拡大することから県内産業の振興を図ることができる。 【主な事業内容】 新潟FAZ出資金(増資) 国際物流センター(仮称)建設事業費に対し出資を予定	—
	豊栄市		新潟東港物流団地整備事業(横土居地区)	【事業目的・効果等】 位置的に東港に近接し、高速交通体系に至便な区域であることを活かし、道路一体型広域物流拠点機能を有する物流団地を配置し、地域の活性化を促すと共に公共施設の改善を図り、良好な都市環境を形成することを事業の目的とする。 【主な事業内容】 新潟東港物流団地整備事業(横土居地区)における補助金及び市道整備事業 横土居地区面整備事業(組合施工による区画整理事業)	○	東港工業団地及び区画整理組合施行により同地域笹山に東港物流団地が造成されているが、現在残地がある状況である。 将来的なまちづくりの観点からは必要な事業であるため、企業の立地意向(需要予測)等を見極めた中で当該事業を実施するものとする。
	商業・工業	新津市	新潟バイオリサーチパーク形成促進事業	【事業目的・効果等】 産業構造の大きな部分を占める米に代表される農水産資源を生かした米菓、醸造、農水産加工などの食料品製造業(バイオ関連産業)に係る分野に特化して産学共同研究開発に取り組むことで、地域産業を充実・強化し、また他地域の取り組みとの差別化が図られる。 【主な事業内容】 本事業は、バイオ研究基盤の強化と産学官の連携によるバイオ関連分野の研究開発力の強化・育成のための拠点として、新潟薬科大学(応用生命科学部)を核とした「新潟バイオリサーチパーク」の形成を目指すものである。整備内容は、産学共同研究施設等を設置するほか、民間研究施設や公的研究施設の誘致エリア確保を図るものである。 ・建物(産学共同研究施設) 1棟 ・用地買収、造成	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		豊栄市	豊栄地区生活応援拠点調査事業	【事業目的・効果等】 ・周辺地区の商業機能・業務機能を充実させる。 ・「市民活動センター」としてコミュニティー等の活動の支援、「総合情報発信施設」として来街者等の情報活動を行なう。 【主な事業内容】 生活を応援する交流機能施設を豊栄の玄関口である駅との連携施設として整備する。豊栄の地域の人々の生活を応援する交流機能の形成、ふれあい、心意気を応援する情報交流機能を図る。 (1F) エントランスホール、市民ギャラリー、インフォメーションセンター、テナント 出店スペース、駐車場・駐輪場、 (2F) 市民活動センター、活動室、コミュニティホール、駐車場 (3F) いこいの広場、託児施設、介護支援センター、ボランティアセンター、駐車場 (4・5F) 分譲型マンション	○	豊栄駅のリニューアルと一体化した中心市街地活性化事業である。 中心市街地活性化事業という観点からは、整備手法について多面的観点から検討が必要である。 生活応援施設についてはその必要性、施設内容などについて検討が必要である。 従って、当事業については調査費で事業手法等を整理することが妥当と考える。
		新潟市	植物園(農業センター)整備事業	【事業目的・効果等】 園芸センターの移転拡充を軸に、植物資料室と緑化推進圃場の移転、小動物愛護センターの新設を一体とし、合併後の広域を見据えた施設として整備する。 「田園型政令指定都市」に相応しい「農業振興拠点施設(農業センター)」としての機能を強化する。 【主な事業内容】 植物園本館、試験温室等、展示温室、屋外展示、小動物愛護センター、緑化推進圃場	○	市町村提案のコンセプトのとおり 機能強化の一環として、調査・研究部門を集約し、白根市提案の「国際農業研究センター」的な機能も含めて検討する。
	農業	白根市	アグリパーク・国際農業研究センター整備事業	【事業目的・効果等】 都市住民の農業への理解の促進、都市と農村の交流促進等を通じて、都市住民の余暇の推進を図るとともに、「田園型政令指定都市」の魅力を発信する。 また、国際農業研究センターを設置し、環日本海における農業研究を推進することで、環日本海圏内での農業貿易(輸出)が可能となり、受け身(輸入)の農業から攻め(輸出)の農業への転換が図られる。 【主な事業内容】 「農業」の持つ多面的な機能を活用し、体験農場、市民農園、観光農園、農産物の直売所及び花卉に彩られた公園広場などが広がるアグリパークを整備する。また、広大な農地、高度高速交通網(高速道路、空港、港)を活かし、対岸貿易を踏まえた国際競争力のある農業生産を可能とするための、国際農業研究センターをアグリパーク内に設置する。 ○施設概要 テーマガーデン フルーツ・フラワー温室 果樹園・フルーツ体験農園 体験農場 市民農園 農業体験(研修)工房(農産物加工等) 農産物直売所・レストラン バーベキュー広場 ふれあい牧場 こどもわんぱく広場 イベント広場 宿泊施設(ロッジ、オートキャンプ場) 国際農業研究センター(パーク内に併設)	○	市町村提案のコンセプトのとおり 「国際農業研究センター」については、このような調査研究セクションは、新潟市が植物園構想の中で計画している「農業センター」にその機能を集約し一体的に活用することが効果的と考えるため、農業センターにその機能を包括する。 ただし、農業センターの出先機関としてアグリパーク内での施設設置については今後検討する。

施策	項目	提案市町村名	事業名	各市町村提案事業内容	検討結果	検討における考え方
52	農業	白根市	資源循環センター建設事業	<p>【事業目的・効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無登録農薬使用問題の勃発から「食の安全・安心」を主眼におき、化学肥料を減らし、有機質肥料を使用した安全で美味しい農産物の生産をより拡大していく。 ・家畜排せつ物管理・利用促進法のもと、家畜ふん尿の適正処理、再利用が求められる中、その実践を図っていく。 ・化学肥料に頼らない、安全・安心を追求する農業産地の確立 環境保全型農業への生産者の意識改革 ・生ゴミ減量化と焼却経費の軽減 稲わら焼却の防止 環境にやさしい農業産地、農業生産物のアピールと評価向上 <p>【主な事業内容】</p> <p>現白根市及び近隣地域の農業廃棄物(家畜ふん、稲わら、もみ殻、きのこと腐オガ、果樹剪定枝、野菜クズ等)全般、併せて公共施設などから排出される食物残さ、更には一般家庭からの分別生ゴミ等、これらを再利用可能な有機物として回収し、有機質堆肥として農業生産ほ場へ還元する。資材回収から堆肥製造、堆肥散布までの一連の機能を持つ、総合的有機物循環施設とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設等概要 資源循環センター 堆肥製造施設 	○	市町村提案のコンセプトのとおり 今後の環境保全型農業の施策の展開を図るうえで、その必要性・有効度などを市民に理解してもらおうということから、当事業については、新市におけるパイロット事業として位置づける。
		小須戸町	シンボルゾーン周辺整備事業(経営構造対策事業)	<p>【事業目的・効果等】</p> <p>総合交流拠点施設及び高生産性農業用機械施設とともに整備を実施する。農産物の販路拡大による担い手農家の所得増大のため都市住民との交流を促進する。農業イベントの強化・拡大や都市部への情報発信の強化を行い、体験を通じて農業生産に対する理解と、担い手の活動拠点の整備を図る。</p> <p>【主な事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験農園施設の整備 管理棟 木造 	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		小須戸町	シンボルゾーン周辺整備事業(農業振興整備事業)	<p>【事業目的・効果等】</p> <p>小須戸町花とみどりのシンボルゾーン周辺整備計画に基づく、新潟県特産花木ボケ公園の造成整備。地域合意形成と消費者交流を通じた農業の持続的発展のため、交流拠点施設、体験農園とあわせて公園整備をして、シンボルゾーンへの集客強化を図る。</p> <p>【主な事業内容】</p> <p>花き花木産地小須戸町を象徴する公園の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボケ公園整備 	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		亀田町	バイオマスエネルギー活用推進事業	<p>【事業目的・効果等】</p> <p>資源リサイクル型社会の確立と、化石燃料に代わる新しい地域エネルギーの開発を進めるため、地域資源を活用したエネルギーリサイクルシステムを構築する。</p> <p>農業における産業廃棄物である稲わら・廃ビニール、食品産業における廃棄物である廃プラスチック、残渣等を再利用するため、廃棄されるゴミの全体量が減少する。地域住民の環境に対する意識が向上する。</p> <p>【主な事業内容】</p> <p>農村で発生する稲わら等や食品産業、都市部において出される生ゴミ等バイオマス資源や、農業用廃プラスチック・廃ビニール、都市部で発生する廃プラスチック等をリサイクルすることにより、メタノールや都市ガスを生産し、且つ発電も可能なバイオマス等エネルギーリサイクルプラントを建設する。</p>	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		西川町	農村振興総合整備事業(地域資源循環管理)	<p>【事業目的・効果等】</p> <p>農村集落における快適な生活環境の確保や豊かで美しい農村環境を創造する。</p> <p>【主な事業内容】</p> <p>家畜の排泄物と稲わら・籾殻を活用した有機農法を推進し、化学肥料を減らした環境保全型農業の推進と品質の向上を図るため、農産廃棄物処理施設及び農村交流施設等を建設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 農産廃棄物処理施設(堆肥化施設) 農村交流施設整備等 	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		中之口村	農業体験型大規模公園整備事業	<p>【事業目的・効果等】</p> <p>新市の特徴と人材育成を考えた場合、本村の基幹産業である農業を活かした体験学習・実習施設を取り入れた大規模な公園を建設することで、圏域の憩いの場と転換期にある農業農村地域の発展に資する。子どもたちの体験学習や活動の場として、農業(果樹・花卉・稲作)の継承にも効果が期待できる。また、生産法人や高齢者の農業従事者に体験農業の指導を委託することで地域の教育力の再生とともに生きがい対策にもつながる。</p> <p>【主な事業内容】</p> <p>スボレック中之口周辺に農業体験ができる大規模公園を建設する。</p> <p>施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理スペース、多目的スペース、農業体験スペース、遊びのスペース 	○	市町村提案のコンセプトのとおり

施策	項目	提案市町村名	事業名	各市町村提案事業内容	検討結果	検討における考え方	
多様な交流ができるまち	観光	豊栄市	道の駅豊栄周辺整備調査事業	【事業目的・効果等】 ・地域の情報ステーションとして、利用者と地域の交流を育みます。 ・いつでも快適にくつろげるよう、休憩施設の充実を図ります。 ・地域のブランド品等を発信する機能・体験ゾーンの設置により活力のある地域づくりを推進します。 【主な事業内容】 既存の「道の駅・豊栄」の持つ機能(休憩・情報発信・地域連携)の拡充を図る他、国道113号(整備予定路線)からの利用にも配慮し、隣接する海に関する情報発信機能も併せ持つ施設とする。 ① 情報ゾーン(道・海の情報館、散策の丘、環境の森、駐車場、公衆便所、除雪基地等) ② 滞在ゾーン(コミュニティ広場、環境の森、キャンプ場、ゲートボール場、テニスコート、農園、自然博物館、自然植物館、温泉施設、温泉レジャー施設、高層宿泊棟、ショッピング街、ガソリンスタンド、駐車場、便所等) ③ 体験ゾーン(多目的広場、イベント広場、市民広場、観光農園、環境の森、総合案内所、市民農園・農産物直売所、体験交流館、ガソリンスタンド、駐車場等)	○	事業の必要性については、「道の駅」を活用した地域づくりの推進、新市のPRという観点から有効である。 施設については既存の道の駅が3箇所あり、それぞれが大きな役割を果たしていることを踏まえたうえで、新市としてより有効な活用を図ることから、「道の駅」そのものを観光行政の中にどのように位置づけるのかという議論が不可欠である。 従って、当事業については調査費で基本構想・基本計画・事業手法等を整理することが妥当と考える。	
		岩室村	岩室温泉環境整備事業	【事業目的・効果等】 岩室温泉客に自然豊かな観光施設を提供し、温泉街のイメージアップ、環境の整備を図る。 【主な事業内容】 ・岩室温泉街の改修整備 ・観光散策路整備 (矢川堤内植栽整備 他)	○	岩室温泉街の改修整備については市町村提案とおり 観光散策路整備については一義的には県の河川事業であることから状況を見ながら対応することとする。	
		岩室村	観光・保養・交流施設整備事業	【事業目的・効果等】 岩室温泉は、県内外から多数の観光客が訪れる親しまれた温泉である。旅館・ホテル等に温泉を一括供給している温泉集中加熱所敷地を有効活用し、観光客や市民に温泉や自然の里山を体験し、交流を目的とした宿泊施設を整備する。 【主な事業内容】 観光・保養・交流施設を整備。 ・木造建物 ・外溝工事	—	合併建設計画の対象としないで、当該機能が必要とする場合はNo.61「観光複合施設建設事業」の中で検討を行う。	
		岩室村	観光複合施設建設事業	【事業目的・効果等】 新潟市の奥座敷としての観光PRができ、また住民のいこいの場としての環境を創出する。 【主な事業内容】 岩室温泉地区、間瀬海水浴場をアピールする観光拠点となる観光複合施設を建設する。主な施設内容は地域観光総合案内場、芸能ホール、伝統芸能研究場、伝統美術展示場、地域の祭事広場、旬の青空市場	○	市町村提案のコンセプトのとおり	
		西川町	観光複合施設建設事業	【事業目的・効果等】 施設を設置することにより、新潟市の玄関口として、新潟市域全体の観光PR等が出来る。 【主な事業内容】 国道116号沿いに西川地区をアピールする観光を中心とした複合施設を建設する。主な施設内容情報ステーション、児童コーナー、イベント広場、地域交流コーナー、ラウンジ、緑地	○	市町村提案のコンセプトのとおり	
	63	文化	新津市	文化会館建設事業	【事業目的・効果等】 地域の独自文化の継承と創造に資する多様で自由な市民活動の発表の場として、また、高度化する市民ニーズに対応した文化芸術の本格的な拠点施設として整備する。また、総合体育館との複合施設とすることで、一体的かつ効率の良い活用、管理運営を図る。 【主な事業内容】 ・主要機能 劇場 関連事業「新津総合体育館建設事業」	○	市町村提案のコンセプトのとおり
	64		新津市	坂口安吾記念館建設事業(里山整備事業)	【事業目的・効果等】 新潟の生んだ文学者「坂口安吾」を一つの切り口に、新潟の風土と安吾の関わりをとおして新潟の文化を検証するとともに、安吾の多彩な活動を振り返りながら安吾の思想を学び交流を進めることで新潟地域の文化活動全体の振興につなげていく。 【主な事業内容】 坂口安吾の自筆原稿や遺品類・蔵書などを収蔵し、一部常設展示や研究者への情報提供を行う。また、新市域の文化施設との連携を深めながら講演会・イベント等多角的な活動により情報を発信していく。 ・建物 展示室、図書室、収蔵庫、事務室、会議室、研究室、多目的ホール	—	新潟には功績を残した先人が数多くおり、新潟市ではその先人についてどのように顕彰していくべきか、有識者の方々から意見をもらったところである。坂口安吾についてもどういった形で顕彰していくのがよいか、個人の記念館を建設するのも含めて新市の中で検討する。
	65		新津市	八幡山遺跡史跡公園整備事業	【事業目的・効果等】 八幡山遺跡群は弥生時代後期の高地性環濠集落「八幡山遺跡」と古墳時代の「古津八幡山古墳」の複合遺跡で、弥生時代から古墳時代への変遷が一遺跡で迎えられる典型的な遺跡である。国史跡に指定し遺跡の保存を図るとともに、公有化し史跡公園として整備を行う。 【主な事業内容】 平成16年度に国指定を予定している八幡山遺跡を公有化し、史跡の保護を図るとともに、史跡整備やガイダンス施設を建設し、自然および文化財の学習機能の場としての活用を図る。 ・史跡整備 堅穴住居復元、環濠復元、周辺整備、ガイダンス施設	○	市町村提案のコンセプトのとおり。 ※国の史跡指定が前提であり、未買収地の公有化後の整備となる。

施策	項目	提案市町村名	事業名	各市町村提案事業内容	検討結果	検討における考え方
多様な交流ができるまち	文化	豊栄市	自然・歴史・文化資料収蔵展示施設建設事業	<p>【事業目的・効果等】 豊栄市博物館及びビュー福島潟は多分野の膨大な資料が収蔵されているが、これらを常時公開できるスペースが不足し、自然資料や弦巻松蔭作品等の一部を公開しているにすぎない。なかでも、民俗資料は約2,700点あり、半数以上を他所の倉庫に収蔵している。この資料には豊栄市指定文化財である福島潟民俗資料も含まれている。合併後、地域色を失わないよう自然、歴史、文化一体となった郷土の貴重な資料を収集公開し、地域コミュニティや学校教材として活用を図ると共に、確実に後世に継承していく義務がある。従ってこれらの収集資料を整理分類し、常時公開する収蔵庫兼展示室が必要である。</p> <p>【主な事業内容】 ・用地 水の駅「ビュー福島潟」敷地内 ・建物 収蔵兼展示室、企画展室、整理作業室、管理室他</p>	○	企画展室については、博物館及びビュー福島潟があるので必要ない。収蔵展示に限定し、総合学習などに利用することを主体とする。新市域全体のバランスを考えると、収蔵庫を主体に建設するのが望ましい。建設位置及び機能については十分検討のうえ決定するものとする。
		豊栄市	文化会館建設事業	<p>【事業目的・効果等】 市民の多様化、高度化した学習ニーズに応えるために、文化交流拠点として、また芸術文化活動の推進とその基盤整備を図るために、これまで市民要望の強かった音楽、演劇を主体とした文化会館とする。</p> <p>【主な事業内容】 音楽コンサート、演劇公演等に活用出来るステージ。 ・音響・調光室の設置、楽屋、練習室(完全防音)、楽器庫、会議室、応接室、事務室</p>	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		亀田町	文化会館建設事業	<p>【事業目的・効果等】 地域の文化及び生涯学習の拠点施設として文化会館を整備する。また、長年地域住民から要望が高い図書館施設を有するとともに、同敷地内に郷土資料館施設も併せて有するものである。文化ホールにおいては、芸術性の高い事業を実施するとともに、幅広いジャンルの公演を実施し、多くの町民に芸術文化に親しむ機会を提供することにより、生活にうるおいと喜びをもたらす、豊かな人間性をはぐくむ。図書館、生涯学習施設は幼児から高齢者にいたる幅広い世代を対象とする生涯学習の拠点施設として、その果たすべき役割には非常に大きなものがある。</p> <p>【主な事業内容】 ・文化ホール、図書館、生涯学習施設、郷土資料館、幼児コーナー</p>	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		岩室村	重要文化財種月寺本堂保存修理事業	<p>【事業目的・効果等】 種月寺本堂は、新潟県を代表する曹洞宗の本堂として貴重である。種月寺は、壇信徒や村民、近隣の人々に信仰されており、この建物は、後世に残す必要があります。</p> <p>【主な事業内容】 種月寺の本堂は、国指定の重要文化財であり、建立以来、三百年を経て、尾根鉄板葺きの老朽化が進行しているので修復する必要がある。</p>	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		岩室村	歴史民俗資料館新築事業	<p>【事業目的・効果等】 文化財の維持管理や埋蔵文化財等の文化的歴史遺産の保全、また観光資源化や生涯学習事業の一環として、地域住民に学習機会の提供をおこなうことを目的としている。</p> <p>【主な事業内容】 現在の資料館は昭和42年に建築されたもので、老朽化が進んでいる。そのため資料館を新築し伝統文化の保全に努めたい。 歴史民俗資料館 木造平屋建 1棟 新築</p>	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		味方村	重要文化財笹川邸外堀改修事業	<p>【事業目的・効果等】 笹川邸の外堀改修は、表門の左右を中心に、観光客の目にとまる所から改修してきたが、土塁の崩壊が進み景観環境整備と土塁に根を下ろしている邸内の松や杉の大木にも影響があると思われる事から早急に改修をしたい。最近特に大木が倒れるなど被害があり樹木の保護と、観光景観の効果がある。</p> <p>【主な事業内容】 笹川邸の周りに掘られている外堀の改修工事。 外堀の邸内側土塁の崩壊が進んでおり、恒久的な石積みで改修する。</p>	○	市町村提案のコンセプトのとおり
72	味方村	重要文化財笹川邸駐車場整備事業	<p>【事業目的・効果等】 笹川邸の表門には大型バス3台、普通車15台の駐車場はあるが、取り付け道路が狭く、整備することによりスムーズに観光客の誘導が図られる。</p> <p>【主な事業内容】 大型観光バスの駐車場として笹川邸裏門の正面に整備。</p>	—	当面の間、保留。現状のままで十分と思われる。必要性が出た段階で事業を着工する。	
自然と共生できるまち	環境保全	新潟市	一般環境大気測定所整備事業	<p>【事業目的・効果等】 環境大気測定局の配置を見直し、工場や自動車排ガスによる大気環境の状況を広域的に常時監視する。 大気環境の状況を常時監視することで、リアルタイムでの情報提供が可能となり市民サービスの向上が図れる他、緊急時の対応など市民の健康と安全を守るための措置を速やかに取ることが可能となる。</p> <p>【主な事業内容】 大気汚染防止法に基づき、発生源工場や自動車排出ガスの影響による大気汚染状況の常時監視を行い、広域的な監視体制の充実を図るため、測定局4局を整備する。そのうち2局については、測定機器等も更新する。</p>	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		新津市	里山整備事業	<p>【事業目的・効果等】 新津市の南部には海拔100m前後の比較的緩やかな秋葉山丘陵があり、古くから里山として親しまれてきた。この新津の秋葉山丘陵は市民の憩う里山として、市民共有のかけがえのない財産である。このため、共有財産の里山として後世に残すため、新津市の山林を公有林として買収し、多目的な公園機能を持たせることで市民福祉の増進を図る。</p> <p>【主な事業内容】 ・用地買収</p>	○	里山の活用は新市にとって重要な施策である。事業の整備構想・基本計画の策定をしたうえで、里山保全の観点からの施設整備及び用地買収を進めるものとする。

施策	項目	提案市町村名	事業名	各市町村提案事業内容	検討結果	検討における考え方			
75	環境保全	豊栄市	福島潟菱風荘拡張事業	【事業目的・効果等】 菱風荘は、福島潟休憩管理棟を改築して平成12年にオープンしたが福島潟への来園者の増加とともに、菱風荘の利用者も増えてきた。学校1クラスを収容できる宿泊施設、ヨシあし和紙体験スペース、多目的体験スペース等を作り、利用者サービスの向上を図り、部屋数を増やすことで経営効率を上げる。 【主な事業内容】 ・建物 木造建築(蔵作り)、菱風荘風呂増築	○	市町村提案のコンセプトのとおり			
		新津市	阿賀野川交流センター(河川博物館)整備事業	【事業目的・効果等】 この博物館は、水辺プラザの中核となるほか、阿賀野川の沿川の施設との連携をはかり、各種の情報発信機能を持たせることで、阿賀野川を中心とした諸施設の交流拠点とすることができる。また防災拠点としての機能も持たせ、多目的利用を行う。 【主な事業内容】 ・広場 ・建物 鉄筋コンクリート造り	○	市町村提案のコンセプトのとおり			
		新津市	阿賀野川水辺プラザ整備事業	【事業目的・効果等】 阿賀野川における親水利用向上を目的に、親水活動の拠点として広場を整備し、合わせて多目的利用施設を整備する。 【主な事業内容】 ・多目的広場芝張・植栽工 ・構内舗装工	○	市町村提案のコンセプトのとおり			
		新津市	秋葉公園整備事業	【事業目的・効果等】 市街地に近接する都市公園として、貴重な財産であり、新市としても丘陵地総合公園として重要な位置付けとなる。 【主な事業内容】 公園遊具の更新 1式	○	市町村提案のコンセプトのとおり			
		新津市	さつき山公園再生事業	【事業目的・効果等】 さつき山公園は、全国の「さつき」「ツツジ」の苗木の80%を生産しているこの地域のイメージアップと、種の保存を目的に平成7年度に開園した。さつきとツツジが混植されており、開花時期の統一性がないため、観光地としての魅力に乏しい状況となっている。開花の時期をエリア別に統一するように移植するとともに、追加用地取得箇所の植樹が不十分なことから補植行う再整備を実施するものです。 【主な事業内容】 さつき山公園の再整備	○	市町村提案のコンセプトのとおり			
		横越町	阿賀野川フラワーライン整備事業	【事業目的・効果等】 「川と花に親しむフラワーライン事業実施計画」に基づき沢海地区から小杉地区までの間を親水・フラワーパーク・遊歩道等を整備した公園整備を図り、新潟市阿賀野川河川公園など阿賀野川左岸の公園、緑地等と連続性を持たせ、「遊ぶ」「見る」「休む」「動く」「集う」機能によるゆとりとるおいの場を提供する。 【主な事業内容】 阿賀野川の上流部の沢海地区から下流部の小杉地区までの広大な河川敷を活用した町特産のチューリップ等四季折々の草花や水辺を楽しむことの出来る施設(公園、遊歩道等)を設置し、憩い空間を整備する。	○	市町村提案のコンセプトのとおり			
		岩室村	越後七浦海岸弥彦浦遊歩道整備事業	【事業目的・効果等】 同地区については、越後七浦海岸の名勝地の一つとして知られた地区であり、自然環境的にも珍しい白岩が存在し、風光明媚な海岸線が点在していることで、村内外からも訪れる人たちも多い。このような自然環境に恵まれた景勝地をより多くの人たちから身近に親しんでもらうとともに、周辺環境整備のために遊歩道を整備するものである。 【主な事業内容】 間瀬羽生海岸における海岸環境整備並びに観光用遊歩道を整備。	—	県で実施すべき事業であると思われることから、合併建設計画の対象としない。			
		岩室村	多宝山登山道整備事業	【事業目的・効果等】 多宝山は佐渡・弥彦・米山国定公園内にある。子どもからお年寄りが安全に親しく登山できる山として、愛好家達に人気がある。しかし今まで整備も十分でなく昨今の急激な登山ブームに対応できずにおり整備を急ぐ必要がある。 【主な事業内容】 多宝山登山道を整備。 ・登山道整備・休憩所整備	—	県で実施すべき事業であると思われることから、合併建設計画の対象としない。			
		白根地域広域事務組合	汚泥再生処理センター建設事業	【事業目的・効果等】 汚泥再生処理センターは、従来のし尿処理施設の機能に加え、生ごみ等の有機性廃棄物を受入れ、処理することにより、堆肥化、メタン発酵等によるエネルギー回収をすることができ、汚泥・有機性廃棄物の有効利用を図ることができる施設であることから、ごみ処理分野のみならずし尿処理においても、リサイクルを推進することができる。 【主な事業内容】 し尿処理施設の更新にあたり、「循環型社会の形成」の観点から、生ごみ等の有機性廃棄物も併せて処理し、汚泥等の再生利用が可能となる汚泥再生処理センターを建設する。	○	市町村提案のコンセプトのとおり			
		76	自然と共生できるまち	公園・緑地・緑化	新津市	阿賀野川交流センター(河川博物館)整備事業	【事業目的・効果等】 この博物館は、水辺プラザの中核となるほか、阿賀野川の沿川の施設との連携をはかり、各種の情報発信機能を持たせることで、阿賀野川を中心とした諸施設の交流拠点とすることができる。また防災拠点としての機能も持たせ、多目的利用を行う。 【主な事業内容】 ・広場 ・建物 鉄筋コンクリート造り	○	市町村提案のコンセプトのとおり
新津市	阿賀野川水辺プラザ整備事業				【事業目的・効果等】 阿賀野川における親水利用向上を目的に、親水活動の拠点として広場を整備し、合わせて多目的利用施設を整備する。 【主な事業内容】 ・多目的広場芝張・植栽工 ・構内舗装工	○	市町村提案のコンセプトのとおり		
新津市	秋葉公園整備事業				【事業目的・効果等】 市街地に近接する都市公園として、貴重な財産であり、新市としても丘陵地総合公園として重要な位置付けとなる。 【主な事業内容】 公園遊具の更新 1式	○	市町村提案のコンセプトのとおり		
新津市	さつき山公園再生事業				【事業目的・効果等】 さつき山公園は、全国の「さつき」「ツツジ」の苗木の80%を生産しているこの地域のイメージアップと、種の保存を目的に平成7年度に開園した。さつきとツツジが混植されており、開花時期の統一性がないため、観光地としての魅力に乏しい状況となっている。開花の時期をエリア別に統一するように移植するとともに、追加用地取得箇所の植樹が不十分なことから補植行う再整備を実施するものです。 【主な事業内容】 さつき山公園の再整備	○	市町村提案のコンセプトのとおり		
横越町	阿賀野川フラワーライン整備事業				【事業目的・効果等】 「川と花に親しむフラワーライン事業実施計画」に基づき沢海地区から小杉地区までの間を親水・フラワーパーク・遊歩道等を整備した公園整備を図り、新潟市阿賀野川河川公園など阿賀野川左岸の公園、緑地等と連続性を持たせ、「遊ぶ」「見る」「休む」「動く」「集う」機能によるゆとりとるおいの場を提供する。 【主な事業内容】 阿賀野川の上流部の沢海地区から下流部の小杉地区までの広大な河川敷を活用した町特産のチューリップ等四季折々の草花や水辺を楽しむことの出来る施設(公園、遊歩道等)を設置し、憩い空間を整備する。	○	市町村提案のコンセプトのとおり		
岩室村	越後七浦海岸弥彦浦遊歩道整備事業				【事業目的・効果等】 同地区については、越後七浦海岸の名勝地の一つとして知られた地区であり、自然環境的にも珍しい白岩が存在し、風光明媚な海岸線が点在していることで、村内外からも訪れる人たちも多い。このような自然環境に恵まれた景勝地をより多くの人たちから身近に親しんでもらうとともに、周辺環境整備のために遊歩道を整備するものである。 【主な事業内容】 間瀬羽生海岸における海岸環境整備並びに観光用遊歩道を整備。	—	県で実施すべき事業であると思われることから、合併建設計画の対象としない。		
岩室村	多宝山登山道整備事業				【事業目的・効果等】 多宝山は佐渡・弥彦・米山国定公園内にある。子どもからお年寄りが安全に親しく登山できる山として、愛好家達に人気がある。しかし今まで整備も十分でなく昨今の急激な登山ブームに対応できずにおり整備を急ぐ必要がある。 【主な事業内容】 多宝山登山道を整備。 ・登山道整備・休憩所整備	—	県で実施すべき事業であると思われることから、合併建設計画の対象としない。		
白根地域広域事務組合	汚泥再生処理センター建設事業				【事業目的・効果等】 汚泥再生処理センターは、従来のし尿処理施設の機能に加え、生ごみ等の有機性廃棄物を受入れ、処理することにより、堆肥化、メタン発酵等によるエネルギー回収をすることができ、汚泥・有機性廃棄物の有効利用を図ることができる施設であることから、ごみ処理分野のみならずし尿処理においても、リサイクルを推進することができる。 【主な事業内容】 し尿処理施設の更新にあたり、「循環型社会の形成」の観点から、生ごみ等の有機性廃棄物も併せて処理し、汚泥等の再生利用が可能となる汚泥再生処理センターを建設する。	○	市町村提案のコンセプトのとおり		
77	78				79	80	81	82	83

施策	項目	提案市町村名	事業名	各市町村提案事業内容	検討結果	検討における考え方	
自然と共生できるまち	廃棄物処理・資源リサイクル	白根地域広域事務組合	リサイクルプラザ建設事業	【事業目的・効果等】 再資源化率の向上を図るため、資源ごみの効率的な再資源化及び住民への粗大ごみリサイクル品に関する情報提供や展示及び物品交換の場などの、総合的な資源化関連施設を建設し、廃棄物循環型社会の推進に努める。 【主な事業内容】 資源を大切にすまちづくりを行うため、金属類・ガラス類・容器包装廃棄物などの資源ごみ及び粗大ごみを効率的に再資源化する総合的な資源化関連施設を建設する。	○	市町村提案のコンセプトのとおり	
		西川町	生ごみリサイクル施設建設事業	【事業目的・効果等】 近隣市町村で発生する生ごみをリサイクルすることにより、ごみの減量化及び肥料としての活用を図ることができる。 【主な事業内容】 家庭用の生ごみ処理機、コンポスト、EMボカシなどを活用して、生ごみを肥料として再利用している。これらをまとめて処理できる生ごみリサイクル施設を建設する。	—	No.56「農村振興総合整備事業(地域資源循環管理)」が提案されていることから、将来において必要であればその事業の中で検討することとする。	
	防災・消防・防犯	新潟市	高機能消防指令センター総合整備事業	【事業目的・効果等】 合併後の新市域をカバーできる最新の技術と融合した新消防緊急通信指令施設の整備を図り、合併後においても迅速・確実な出動態勢を確保し、市民サービスの均一化と安全確保に努めるものである。 【主な事業内容】 (主要装置) 指令装置 自動出動指定装置 NTT発信地表示装置 指令電送装置 地図検索装置 車両動態位置管理装置 無線設備 等	○	市町村提案のコンセプトのとおり	
		新潟市	防災気象情報システム整備事業	【事業目的・効果等】 ・暴風雨初期における迅速かつ総合的な防災対策実施への情報提供 ・床上・床下浸水等の被害の予測 ・火災予防及び警防活動の早期配備体制の確立 ・防災対策の基礎的情報の蓄積・解析 【主な事業内容】 この防災気象情報システムは、現在、市内15箇所に測定局を配置したもので、雨量、風向、風速の気象情報をいち早く把握することができます。合併に伴い新潟市に設置の既存測定局以外に15局の測定局を設置する。 主な内容 ・新設測定局装置の導入、新設測定局装置の設置小屋、防災課、消防局にある中央監視局、端末局の新設	○	市町村提案のコンセプトのとおり	
		新潟市	防災行政無線整備事業	【事業目的・効果等】 合併市町村間における通信手段の一本化により地震等大災害発生による電話回線使用不能時の情報収集、連絡体制の確保を図る。 【主な事業内容】 新潟市防災行政無線設置の基準により、避難所等に防災無線を設置する。 ※新潟市を除く合併関係市町村に200MHz帯のデジタル無線設備を設置する。	○	市町村提案のコンセプトのとおりであるが、さらに追加機能として、岩室村の海岸に設置してある子局についても新潟市内の海岸同様に緊急システムが流せるようにする。	
	ゆとりと潤いのあるまち	学校教育	潟東村	養護学校建設事業	【事業目的・効果等】 この地域(西新潟、西蒲原区域)全体を区域とした養護学校を新築し、教育の向上を図る。 【主な事業内容】 西新潟地区、新市の西蒲原地区(西川町、潟東村、味方村、月潟村、中之口村)に養護学校がないため特殊学級で進めております。このため小・中学部の養護学校を新築し、教育の向上を図る。	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		生涯学習	新潟市	中央図書館整備事業	【事業目的・効果等】 現在の新潟市立図書館に加えて、新たに近隣の図書館の資料データ、検索システム、物流システムなどを有機的に結びつける必要がある。このため中枢施設が必要となる。 【主な事業内容】 近隣図書館の資料データ、検索システム、物流システムなどを有機的に結びつける中枢施設を建設する。 施設形態:図書館単体 蔵書規模:80万冊	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		スポーツ・レクリエーション	新津市	総合体育館建設事業	【事業目的・効果等】 現在、市民大会等の開催用体育館として使用している市民会館大ホールは、築30年を経過し老朽化している。また、当地区にはトレーニングルーム等を備えた体育館がなく市民のニーズに答えられない状況にあり、生涯スポーツ、競技スポーツの中核となる施設の建設が急務である。総合体育館を建設することにより、新津地区のスポーツの推進を図る。また、文化会館との複合施設とすることで、一体的かつ効率の良い活用、管理運営を行う。 【主な事業内容】 新津地区の住民の生涯スポーツ、競技スポーツ推進の中核施設として総合体育館を建設する。 関連事業「(仮称)新津文化会館建設事業」	○	市町村提案のコンセプトのとおり

施策	項目	提案市町村名	事業名	各市町村提案事業内容	検討結果	検討における考え方	
ゆとりと潤いのあるまち	スポーツ・レクリエーション	92	白根市	市民野球場移転新築事業	【事業目的・効果等】 諏訪木運動広場(市民野球場)は、昭和54年にナイター施設を整備し、市民野球場として白根地域で広く活用されて来たが、周辺地の住宅地開発が進んだことから、住民より移転要望がよせられている。加えて、公共下水道の中継ポンプ場・雨水排水ポンプ場の建設予定地になっていることから、移転新築が必要となっている。移転新築に当たっては、新潟圏域内に硬式野球の出来る球場が少ないことから、メインスタンド・内野スタンドに観客席が整備された硬式野球可能な球場(公認野球場)を建設し、新市の市民が利用出来る施設・南部軸地域の拠点となる施設として整備する。 【主な事業内容】 諏訪木運動広場(市民野球場)が、公共下水道中継ポンプ場・雨水排水ポンプ場の用地に予定されていることから、市民野球場を移転新築し、市民の健康増進とスポーツの振興を図る。 ・グラウンド メインスタンド 球場施設	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		93	豊栄市	多目的運動広場建設事業	【事業目的・効果等】 スポーツ・レクリエーション活動を活性化し、スポーツ振興の拠点となるスポーツゾーンの建設整備が必要である。 【主な事業内容】 陸上競技場(多目的)建設事業	○	新市には、既に県営・市営の1種競技場があることから、多目的運動広場として必要な施設を整備する。
		94	亀田町	屋内多目的運動場整備事業	【事業目的・効果等】 現在、亀田町総合体育館の利用者は年間28万人を超え、いまだ増加現象にある。冬場テニスコート利用者が現在メインアリーナを使用することが多く、また、メインアリーナ等ではフットサル等を禁止していることから、砂入れ人工芝敷きの屋内多目的運動場が望まれている。すでに町民グラウンド内に屋内ゲートボール場が多目的に利用できる施設として建設されているが、あくまでも高齢者・児童優先の福祉施設であり、使用が制限されているため、総合運動公園内に多目的運動場を建設する。 【主な事業内容】 砂入り人工芝で冬季期間も利用可能な運動場の建設 砂入り人工芝:非透水性	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		95	亀田町	スポーツ研修施設建設事業	【事業目的・効果等】 近年、学校週5日制に伴う、部活動の時間短縮等による中学校体育連盟の日本体育協会への加盟、また町内における補導会活動の簡素化、町山の家等の廃止により、集団生活における、きまり・ルール等が時代の流れに逆行して、分らない子ども達が増えている。このようなことを踏まえた上で、総合運動公園内に、宿泊施設を兼ね備えた研修施設を建設することにより、合宿等による社会体育活動の推進、交流人口の増大、また補導会活動への協力等が可能になる。 【主な事業内容】 風呂・サウナ等を有した宿泊施設の建設 宿泊施設兼温浴施設 監督宿泊室、スタッフ宿泊室、選手宿泊室(大部屋)、ミーティングルーム 等	—	当該事業は、新市での検討課題とし、引き続き調査・検討する。 スポーツの合宿や大会時の宿泊施設として必要性はあるが、既存施設や民間宿泊施設との機能分担など新市での検討課題とする。
		96	亀田町	全天候型グラウンド建設事業	【事業目的・効果等】 亀田町にあるグラウンドは、町民グラウンド、かわね公園グラウンド、多目的グラウンドなど、トラックを併設した全天候型グラウンドが無く、町民からも補導会の運動会を行いたいという要望や、合宿等による社会体育活動・交流人口の増大を推進する。 【主な事業内容】 観覧席を有した全天候型グラウンド	—	当該事業は、新市での検討課題とし、引き続き調査・検討する。 県営・市営の1種競技場があり、既存施設との機能分担などが必要である。
		97	亀田町	武道場建設事業	【事業目的・効果等】 亀田町には亀田中学校、亀田西中学校に柔・剣道場があり、ともに柔道場1面、剣道場1面しかなく、体育協会加盟団体である柔道連盟などは、大会を開催する際、非常に苦慮されている。また、今後学校週5日制により社会体育の役割も非常に大切になってくることから、多目的にも利用できる武道場を建設する。 【主な事業内容】 多目的利用可能な武道場の建設、柔道場、剣道場	○	市町村提案のコンセプトのとおり
		98	岩室村	間瀬海岸埋立地開発事業	【事業目的・効果等】 大通川放水路工事の残土を活用した公有水面埋立が、平成12年度に完了。しかし、村開発用地がいまだに未整備の状態であり、今後、開発が望まれている。 【主な事業内容】 同用地についての開発計画については、当分の間、試験植林用地として活用する予定であるが、その後、スポーツレクリエーション施設交流施設等を整備し、広域的交流や健康増進の場として、また観光的施設としての効果的な整備が必要である。 ・多目的グラウンド、サブグラウンド、風の塔インフォメーション、駐車場、憩いの広場、汚水処理施設	○	市町村提案のコンセプトのとおり

施策	項目	提案市町村名	事業名	各市町村提案事業内容	検討結果	検討における考え方
99	ゆとりと潤いのあるまち スポーツ・レクリエーション	西川町	総合体育館建設事業	<p>【事業目的・効果等】 西川町第三次総合計画「第1章人をつくる」のなかで、町民が有効に活用できるスポーツ施設及びレクリエーション施設の整備について推進していく姿勢が示されていますが、あわせて、平成11年1月実施の「生涯学習に関する住民意識調査」で要望の多かった施設として「総合体育館」があげられています。</p> <p>【主な事業内容】 町民が有効に活用できるスポーツ施設及びレクリエーション施設として、総合体育館を建設するものです。</p>	○	市町村提案のコンセプトのとおり
100	一人ひとりの思いを受けとめるまち 地域情報化	新津市	地域公共ネットワーク整備事業	<p>【事業目的・効果等】 下記のようなシステムを構築し、効率的に業務を実施するとともに、住民サービスを向上させるためには、光ファイバ網が必須である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型化、広域化する行政組織において、情報共有化・管理ツールは必須(グループウェア、文書管理・文書決裁システム等) ・電話料節減のためのIP電話導入 ・学校における情報教育の実施(VODシステムによる視聴覚教材配信等) ・行政情報を積極的に提供するためのホームページ作成支援システム導入 ・統合型GIS導入 <p>【主な事業内容】 新潟市情報技術活用推進計画に掲げられた各種施策・事業を合併市町村に展開するため、光ファイバによる情報通信基盤を構築する。</p>	—	合併までに、新潟市の情報通信ネットワークを各市町村の行政機関へ拡張する。合併後は、教育機関のネットワーク整備を検討するが、民間通信サービスを利用した整備手法のため、建設計画の対象としない。
①事業費合計：102,522百万円						